

ト云リサルヲ得マセズ、決シテ輕々ニ見直スベキナリト信
シマス、夫レテ又彼婦人連ハ自己ノ生活ニ又苦シク生計ヲ
ナスモ、加子供ノ三人五人八人ト種ハレ後テ生活状態ハ
登々苦シキ運命ニ陥リ果敢チキ夢ヲタトモノモアんで
ハテリマセリカ 故ニ最モ其ノ良策トシテ目下ノ産兒制
限即チ新ニハサス主義リ其方法其主張ニ於テ理想ノ
事ト存シマス故ニ良ク御研究ノ結果其ノ主義主体
ヲ自覚見セリ婦人ノ自覚ト自由解放ハ他ノ諸問
題ニ先決ニ可キ事項ト思ヒマス

山 本 宣 治

産兒制限策ノ進化

下等動物ヨリニ救生物人類等ノ繁殖率ヲ詳述シテ
滑稽ナ例ヲ挙ケ先後目下ノ日本人夫婦一対ヲ置イテ
他ノモノ一人モナシトシ廿五年目毎ニ其ノ倍額ノ救ヲ計上
シテイッテ六百五十年先ハ目下我人口六千万同胞ト相
等シクナルト云リ状態ニハ斯様ニ恐ロク増殖シテ行カ
ナクテハナラヌ人口カ何故ニ其増加ガ少イノカローカ即チ
古ヨリ暗々ノ中ニ其ノ制限方法ヲ講セラレタ結果ニ外ナラヌ
其大キト漁夕徳川時代ニ於テ同シク歐國時代ト増殖
カ著シカラヌ内々抑兒ノ慣例カ勵行サレタ結果ガ一
例ヲ子ガハ對馬ノ國ニ於ケン宗對馬ノ身ノ布令曰ク子
供三人以上ヲ生ズバ叱リ置クモノナリト云フ見テ又當時實